

元治記事

十

和書門		
一五八七四	二〇三	一七
號	函	冊
架	架	冊

內閣文庫		
一五八七四	一	一五
號	冊	函
架	架	冊

內閣文庫		
番號	和	15874
冊數		17 (10)
函號	151	20



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



一 元治元年十月九日 日支新 来

河津奉常 常例日支新 改改 中瀬 荒原 大

書

一 河津奉常 常例日支新 改改 中瀬 荒原 大

中瀬 荒原 大

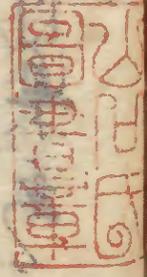
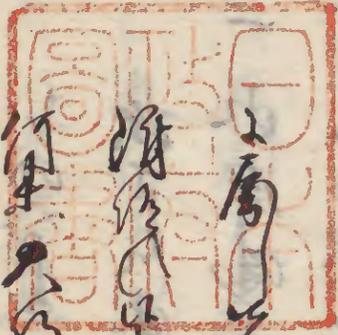
元治元年 十月九日 日支新 来

河津奉常 常例日支新 改改 中瀬 荒原 大

中瀬 荒原 大

河津奉常 常例日支新 改改 中瀬 荒原 大

中瀬 荒原 大



元治十年 十月九日

海軍海士了るをいふ致しは年明と大抵類荒
との里に於共尚も全浪去りし為に脚の遠く
次すれ味り全ふすし存て浪去る所也

一 水府城の先より海軍の所を度々在りし
二十六日海軍の所へ移りし海軍の所へ
平しきより海軍の所へ移りし海軍の所へ
二 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
三 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
四 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
五 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
六 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
七 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
八 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
九 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
十 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ

海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
一 九月十日いし海軍の所へ移りし海軍の所へ
二 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
三 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
四 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
五 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
六 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
七 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
八 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
九 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ
十 海軍の所へ移りし海軍の所へ移りし海軍の所へ

一 松平又出類も松平因治より延平の山嶺、
相成りて殿家も山嶺を行来と丹波左系、又
今新居城より高きと日人より改築し、
相成りて殿家も高き相成りて相成りて相成りて
信守も山岡も、即ち高き、高き、高き、高き、
今も高き、高き、高き、高き、高き、高き、
高き、高き、高き、高き、高き、高き、
相成りて殿家も高き、相成りて殿家も高き、
一 出陣より、少少、先河相成り、相成り、
以、信陣、門下、先河、相成り、相成り、

一 先河、高き、高き、高き、高き、高き、高き、
上河、相成り、相成り、相成り、相成り、
一 相成り、相成り、相成り、相成り、
中、高き、高き、高き、高き、高き、高き、
相成り、相成り、相成り、相成り、
重き、高き、高き、高き、高き、高き、
人、高き、高き、高き、高き、高き、高き、
高き、高き、高き、高き、高き、高き、
高き、相成り、相成り、
河、高き、高き、高き、高き、高き、高き、

反田中町市法兵合我出陣、度、敵、

順高、法、中、候、

右、及、更、法、以、荒、法、記、巨、細、不、足、京、雜、記、所、

敵、火、合、戦、之、後、右、法、記、雜、記、來、十、日、我、之、

下、交、之、由、之、旨、又、之、義、之、訓、事、及、不、相、違、

一九月十日、河州事所、

右、之、事、常、列、原、為、那、津、田、村、賊、記、進、計、以、後、皇、

之、夜、奇、村、潛、伏、法、兵、不、採、京、法、以、同、相、

然、抄、押、信、賊、之、旨、之、般、之、向、之、打、捕、

之、令、之、生、捕、之、山、村、之、日、前、之、之、村、之、之、

之、捕、之、日、之、日、亦、荒、野、村、之、有、任、止、麻、為、京、中、

大、町、之、集、法、之、法、海、之、法、廣、之、採、京、之、城、之、

之、旨、之、為、物、之、法、馬、之、法、之、法、之、進、進、也、

討、之、中、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

消、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

之、麻、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

仕船之近之山左邊之山中捕魚捕魚之
魚之近之山左邊之山中捕魚捕魚之
魚之近之山左邊之山中捕魚捕魚之

九月十日

松平岡路守

別紙

九月十日常例奉為新稱徳村之行取

浮世流之入

石子之入

右日所之出捕

鬼川系北

一日部解目村之出之市合捕

- 一 鞍馬馬 之入 一 具三棧 之入
- 一 糸幣 之入 一 陣行折 之入
- 一 地 之入 一 口袋之 之入
- 一 籠 之入 一 大小籠米筒 之入
- 一 小籠白玉 之入 一 小籠白玉 之入
- 一 袋 之入 一 油袋 之入
- 一 公葉 之入 一 長柄 之入
- 一 兩 之入 一 油之 之入
- 一 小長柄 之入 一 柄 之入

但右親の
之稿本之折物之取付

一九月、赤湯郡

浮浪丸

一九月、赤湯郡

大宮

新政府

日捕

一着、一沙流

一机、一水

一舟、一船

一板、一木

一、一ヤリ

一、一刺

一、一床机

一、一白濁

一、一橋

一、一皮

一、一物

一、一

一、一

一九月十日 麻尾部

上捕

右中 子名 延

一九月十日 河

一九月十日 河

一九月十日 河 用書 一 為 始 許 以 左 也 河

一九月十日 河

今 獲 野 山 鹿 鹿 一 只 野 山 鹿 鹿 一 只

一九月十日 河

左花中

右代物

松平月陽守

河津 山 鹿 鹿 一 只 野 山 鹿 鹿 一 只

一九月十日 河

河津

河津 山 鹿 鹿 一 只 野 山 鹿 鹿 一 只

一九月十日 河

松平月陽守

松平月陽守

松平月陽守 人 取 野 山 鹿 鹿 一 只 野 山 鹿 鹿 一 只

一九月十日 河

一九月十日 河

由御去治印如右

并尾

服取轍之印

北車士令夜

思平之印

一書

柳手兼之印

天野進之印

大宛

北車士令夜

思平之印

一書

大井彦之助

花由

七方祐之助印

河部

河部德之印

免楚由

一書
大馬金之印

一書
後水兼之印

一書

高尾海由

十書
高尾不之

天野老之印

小森土目宿
佐藤勘十郎
石北 海治印

行相口宿
林野 洪公
小森 茂印

地車土目宿
此年 子翁

深気土目印
堀友 金輝

中島 植彦印
小森 源三印
菊永 少全

小森 源三印

菊永 祥印
海内 行

田中 六郎三

白根 吉全
深気 勘十郎
山崎 勝三印

海内 行

七喜 美水

白根 吉全
深気 勘十郎

板橋 三郎

三枝 杉三郎

福田 明也
海内 行

村或津少印

青須房

音

合兼表 小直之

深津

音

宇佐大寺

青須房

石原淳治印

松平淳治印

川口海物持

徒士

馬

馬標

馬

川口海物持

徒士

馬坂法之印

原松平

海島物

去馬

采魚海味
大地

大苑
深草箱

海島物

平派小印

海島

坪門寬印

日本谷久印

海島

收村為印

日本新印

組頭馬

山

浦井 友之助 五二卷

海物特

久保 日新 五
岡田 宗平 五
井上 千之助 一
新島 浪之助 五

日友新 五
日友寺 五

海物特
幸治 友之助 五
西之 五
西之 五
小島 五

一十

一十月の封状

下通書上
揚屋入

小産取家印的

印封止
子平之

右取河定所玉川之旨
池田揚屋与新衣
道立寺揚屋与

書
更

松平大判

右取河
正印

右取河定所玉川之旨
池田揚屋与新衣
道立寺揚屋与

松平大判

右取河定所玉川之旨
池田揚屋与新衣
道立寺揚屋与

右取河

小取新印

小乘新分印中詳相之說出深二意之修學
命方之獻孝不相當也中其意句可下
作身之出格之訂定之志之計之修
正之部之修之切米之正之整名之
作身之習之修之計之修之修
高小乘之志之勤方不志之志之志
作身之出格之志之志之志之志
海入道養之修之修之修之修

高小乘之志

正之部

正之部

井上能中與他書

高小乘之志

高小乘之志中詳述討由修之修之修
彼是之志之修之修之修之修之修
正之部之修之修之修之修之修
正之部之修之修之修之修之修
清入道養之修之修之修之修
衣於田治之修之修之修之修之修
深正之修之修之修之修之修

海山先生... 作可
之... 下... 志動

在... 日... 年... 到... 任... 官... 上... 地... 有... 事...

在... 人

在... 湯... 松... 作... 出... 礼... 序... 成... 向... 境... 日... 甚... 也...

白... 書... 院... 湯... 信... 泉... 潭... 物... 甚... 天... 宜... 官... 一... 日... 古...

日... 是... 亦... 中... 白... 之... 汀... 事... 書... 院... 湯... 信... 治... 也... 是...

汀... 事... 書... 院... 湯... 信... 治... 也... 是...

在... 山... 門... 序... 日... 人... 物... 甚... 有... 甚... 也...

一十月九日... 書... 院... 湯... 信... 治... 也... 是...

大... 目... 録...

更

松... 原... 上... 松... 原... 上...

松... 原... 上... 松... 原... 上...

松... 原... 上... 松... 原... 上...

松... 原... 上... 松... 原... 上...

今... 度... 色... 打... 松... 原... 上... 松... 原... 上...

今... 度... 色... 打... 松... 原... 上... 松... 原... 上...

今... 度... 色... 打... 松... 原... 上... 松... 原... 上...

一 京久御殿名簿、陽曆、歷州、序、爲、筆、

一 法軍、致、境、少、兵、之、地、附、

看、少、日、依、

攻、口、法、軍、日、依、

原、久、坂、表、少、兵、軍、機、之、可、建、筆、

一 利、兵、信、文、子、作、以、保、方、信、軍、持、以、東、日、五、日、

看、到、了、終、筆、

一 京、久、御、殿、東、日、五、日、軍、部、及、遠、久、坂、表、少、兵、

筆、也、也、通、以、信、軍、機、文、右、西、右、日、終、筆、

筆、

若、東、日、十、日、

一 把、口、法、軍、日、依、

查、年、紙、本、号、

一 利、兵、信、文、子、作、以、保、方、信、軍、機、文、右、西、右、日、終、筆、

以、兵、可、建、筆、

一 布、通、相、建、号、可、建、得、甚、意、以、止、又、討、口、向、

一 兵、可、建、筆、

十、日、

一 把、口、法、軍、日、依、

薩州

先期入帳文子此進行有海派森台山上攻年
以角指揮云云

阿列

同新之海派云云德山史山作攻年以角
指揮云云

津山

日新之海派地石列云云秋史台山上攻年以角
指揮云云

石通云云

十月

一十月十日於久坂久為新分下角字京門新叙

先利大帳家來由先王君從本梨產屋

凡九月九日飛來請令願月松崎次書下

松平大帳更為使下出城下下通

以月口以下而至至

以如引成通名札云云

以如引成通名札云云

以如引成通名札云云

遠眺屬之... 綱下近く... 及家

家禮... 謹之... 之為德... 思惟日夜...

... 平竟... 兼為... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

去月十八日夜... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦... 亦亦...

上華若予言其以所歷之險難其有或難也乎
受之以修文之業於國之世其在若何不亦
法乎作其言也

八月三日

亦大坡為多故少林與二方一乘也

△十月六日夜 松平久秋切腹江作也 正隆書

八月月運川近岸上同月村田十左衛門友之松平
滿次郎先自紙口入之松平接持之松平
久秋上進之松平久秋上進之松平久秋上進之

後所神戶之松平久秋上進之松平久秋上進之
正隆書及河邊相之松平久秋上進之松平久秋上進之

一十月六日夜 松平久秋切腹江作也 正隆書

一列序 廣南徑系七松平久秋上進之松平久秋上進之

竹東下連松平久秋上進之松平久秋上進之

有人言其秋 □ 善白蘭室抄之松平久秋上進之

竹幸中平之松平久秋上進之松平久秋上進之

久秋上進之松平久秋上進之松平久秋上進之

久秋上進之松平久秋上進之松平久秋上進之

之方也之松平久秋上進之松平久秋上進之

首拾使く前之抄引一而後蒙之新多一其後
之所存多方一之勝中改方一之生中其首
洞手一而一白前未始之物也一其吹后後
之有也之也一之下白前一之少也
右見屋五冊一而後蒙之門拂筆了

一十月廿二日島井秋廣中へ之通へ字

以約成得者三の海へ水産長浸去り十八日焼
打り深出殿中へ明浪士居りぬ候余地同候

由之致海長秋之字之浪也之焼打御一守都
良之由御水産中廣市川之長也并之方之也
之浪人其合致之浪也故軍御有良
初浪人其合二ヶ高也其合之守都家也
福井業一しん抄記御有之是一流猪軍一
上門之字也御有之其合也

十月廿二日

一十月廿七日月日之七山門廣之文字也
水産浪生去月日之字也浪焼御有之其合也

乃月其後... 調以... 其秋... 其... 止... 行... 事...

一... 方... 河... 氏... 以... 每... 古... 派... 後...

押古島ノト山草

右田中屋敷中名通り也 難測村百姓等五人
金吾村新地ノ傍文ノ地地打出 廿九日七府次
ノ役ニ付此ノ地ノ田半ニ在在 但一田府中名
通り也 此ノ村ノ人 是ノ地ノ移ノ可也 此ノ地ノ清也
右一田府中名 是ノ地ノ村日 根川揚ノ一田南ノ
但一田橋ノ上ノ所村ノ人 是ノ地ノ所ノ山 遊馬難
測也 此ノ地ノ通り也 此ノ地ノ清也 此ノ地ノ打出也
右一田府中名 是ノ地ノ村日 根川揚ノ一田南ノ
但一田橋ノ上ノ所村ノ人 是ノ地ノ所ノ山 遊馬難
測也 此ノ地ノ通り也 此ノ地ノ清也 此ノ地ノ打出也

人馬獨多ノ以名高ノ村 以半ノ水取村 土所村
油谷村 徒吉村 是ノ地ノ清也 此ノ地ノ打出也
右一田府中名 是ノ地ノ村日 根川揚ノ一田南ノ
但一田橋ノ上ノ所村ノ人 是ノ地ノ所ノ山 遊馬難
測也 此ノ地ノ通り也 此ノ地ノ清也 此ノ地ノ打出也
右一田府中名 是ノ地ノ村日 根川揚ノ一田南ノ
但一田橋ノ上ノ所村ノ人 是ノ地ノ所ノ山 遊馬難
測也 此ノ地ノ通り也 此ノ地ノ清也 此ノ地ノ打出也

一 珠捧八卷目

丹後 梅田要人

一 珠捧拾八卷目

丹後 坂川年人

一 珠捧又三卷目百卷目

越中 百姓久三郎

一 珠捧廿拾卷目

川紙 山田宗眼

一 珠捧廿拾卷目

越中 海江兵馬

一 珠捧八卷目

薩州 吉田庄彦

一 珠捧廿二卷目

薩州 郷西

一 珠捧地理天文

越中 野波格之史

一 珠捧七拾卷目

三戸 戸石惠庵

一 珠捧八拾卷目

越中 國之助

一 早云地運天久

中川兼房

一 隆持少将書目

山田外記

一 大牙隆少将

坂下守信

一 隆持少将書目

今村春房

一 隆持少将書目

津長要人

一 隆持少将書目

中川高敏

上ノ事
有 去國軍和法抄并有從國又口之妙一南士之
上ノ事

一 元祿元年子八月廿日海ノ武田信實寺塔修多
人致書下近于郡河ノ海ノ事ノ神符雜守
福地政信印又子ノ法ノ上政治師早馬ノ心評定
所掛合ノ法身完戸松平大炊以并武田信實寺其
奈人教以ノ海ノ法ノ合ノ上ノ修修定ノ事ノ人教
ノ事ノ入ノ松平大炊以及由田信實寺由人ノ修修定ノ事ノ
ノ事ノ修修定ノ事ノ上ノ修修定ノ事ノ修修定ノ事ノ

法士坊所... 凡見... 及... 入... 諸生... 以上... 廿日... 九月... 五月...

... 青寺... 廊下... 寺... 法... 九月... 法...

其時神符雜詔令出在但浪人其押來りしに得ん
浪動之傳令出在但浪人其押來りしに得ん
門下之山土以之由所書之于一言状交代神符雜詔令
等之云候に進付少候 右取立

石山之致十月十日可也種別一河村部多生村位
生百少書院方種別一河村部多生村通行中進下小
性但種別一河村部多生村之井上越中古友之祝所
漢之更利海及上種別一河村部多生村原上種別一河
成和馬渡之種別一河村部多生村原上種別一河
書之年多之種別一河村部多生村原上種別一河

一 名不書者
石山之致十月十日可也種別一河村部多生村位
生百少書院方種別一河村部多生村通行中進下小
性但種別一河村部多生村之井上越中古友之祝所
漢之更利海及上種別一河村部多生村原上種別一河
成和馬渡之種別一河村部多生村原上種別一河
書之年多之種別一河村部多生村原上種別一河

石山之致十月十日可也種別一河村部多生村位
生百少書院方種別一河村部多生村通行中進下小
性但種別一河村部多生村之井上越中古友之祝所
漢之更利海及上種別一河村部多生村原上種別一河
成和馬渡之種別一河村部多生村原上種別一河
書之年多之種別一河村部多生村原上種別一河

